

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp

5月号

学校から飛び出して、

学ばせていただきたいと思います。

学校長 鈴木 和枝

この時期になると、小学校時代を過ごした地の広いキャベツ畑に、モンシロチョウがひらひらと飛び交っていた景色を思い出します。たまごから幼虫、チョウになるまでの学びは、自分のすぐそばにありました。冬は雪が多く、体育の授業はスケートやスキー教室。地域のボランティアの方が滑り方や転び方を教えてくださいました。家からバスで少し行った地域では「かまくら祭り」が行われ、雪で造られたたくさんの大小様々のかまくらの中の暖かさに驚き、お餅を食べてほっこりしたり、雪明りの中に灯が灯る幻想的な風景を楽しんだりしました。そこでもやはり、地域のボランティアの方々が、灯を手に車や人々を誘導していたことを、ぼんやりとですが覚えています。

地域の行事と言うと、「芋煮会」や「サツマイモ掘り」など。サツマイモ掘りでは、山形の山寺の方まで行きました。長い長い石段を上ること、太いつるに連なるサツマイモを土の中から掘り出すことなど、小さかった私は大勢の大人に手伝っていただき、そのおかげで秋の自然を感じることができました。

そして、横浜に引っ越すために、明日の朝には特急列車に乗るという最後の晩。すっかり片付いた我が家に、近所の方がどっさりと手作りの太巻き寿司を届けてくださいました。最後のお別れのご挨拶でした。

小学校時代を過ごした地が、今も心の中で忘れられないふるさとであり続けているのは、周りの方々が、温かい人のぬくもりやつながりによって、私を支えてくださっていたから、そして「地域」というところが、体験や経験を通して、私に数々のことを教えてくれたからなのだと確信しています。

さて、さわの里の子どもたちにとって、「さわの里」は心のふるさとです。かえがえのない子ども時代を支えてくださっている人や環境、様々な出来事から、教室の中だけでは感じられないことを感じ、繰り返し関わり、考えることで、子どもの「よりよく生きる力」が育まれていく場です。為すことによる学び、学校から飛び出し外の世界で経験したことをこれまでの自分が知っていることとつなげながら捉え直していく学びによって、子どもたちにとって「世の中とつながるリアルな学び」を創り出していきたいと思います。

今年度も、地域を学びの場とさせていただき、子どもたちが活動させていただくことがあると存じます。地域の方々に、子どもたちがお願いにあがる場面もあるかもしれませんが、足りないところ、これはどうなのだろうということがございましたら、ぜひご指導くださいませ。子どもたちの「よりよく生きる力」の育成を応援していただければ幸いです。

「ガーデニングボランティア」の方々にお世話になっております！！

パンジーにネモフィラ、デイジー、ノースポール、アリッサム・・・どれもロータリーの円形花壇、石樽の花々です。昨年度結成していただいた地域の方々や保護者による「ガーデニングボランティア」の方々が環境・掲示委員会の子どもの活動を支えてくださり、花の手入れにいらしてくださるおかげで、正門の景色が明るく華やかです。枯れた花々でのたい肥づくりにも挑戦してくださっています。子どもと共に学びの環境づくりをしていただくことを通して、一層地域に開かれた学校づくりを目指します。

お知らせ 新型コロナウイルス感染症が5類型感染症に位置づけられる見込みであることに伴い、感染症対策も変更の通知が発出となる予定です。これまで制限をしていた教育活動も実施していきます。



ガーデニングボランティアの方々から、子どもはたくさんのごことを学ばせていただいています。